

2010年度

科目名	児童文化				
担当教員	長瀬 美子				
配当	教福2			コード	52330
開期	後期	講時	金曜日2限	単位数	2
授業テーマ	あそびと物語性				
目的と概要	地域からあそび場が消え、自然発生的なあそび仲間が消失していく中で、幼児のあそびを保障する場として、幼稚園や保育所が果たす役割はこれまで以上に重大になってきています。本講義は、幼稚園や保育所での保育内容について深く掘り下げて考え、子どもたちとダイナミックなあそびを創り出して楽しむことのできる力量の形成を目的としています。幼稚園や保育所で実際に読まれている絵本や紙芝居、行なわれているあそびなどを例にしながら、子どもの視点からその「おもしろさの秘密」に迫るとともに、保育者の工夫、しかけや援助などについて分析・考察します。				
成績評価法	受講態度、グループ討議、発表内容70%、レポート30%で評価します。				
テキスト	使用しません。				
参考書	必要に応じて紹介します。				
履修に当たっての注意・助言	講義ではなく演習形式で進めます。欠席すると次の回はわからなくなりますので、欠席しないように。積極的な参加を希望します。				
講義計画					
第 1回	オリエンテーション	本講義のねらいと進め方について			
第 2回	基礎的な知識について学ぶ (1)	児童文化としての絵本、紙芝居			
第 3回	基礎的な知識について学ぶ (2)	あそび研究の現在			
第 4回	絵本分析 (1)	絵本・物語を検討し、その構造を分析する			
第 5回	絵本分析 (2)				
第 6回	絵本分析 (3)				
第 7回	実践に向けての準備 (1)	絵本の選択・構造分析			
第 8回	実践に向けての準備 (2)	実践構想・読み聞かせ			
第 9回	読み聞かせの実践	幼児に対して読み聞かせをする			
第 10回	反応分析	分析結果を発表する			
第 11回	あそび研究 (1)	物語から生まれたあそびを分析する			
第 12回	あそび研究 (2)	物語から生まれたあそびを分析する			
第 13回	あそび研究 (3)	物語から生まれたあそびを分析する			
第 14回	まとめ (1)	「子どもにとってあそびとは何か」について再考する			
第 15回	まとめ (2)	あそびを指導するとは			